



Shikoku
Cancer Center News
No.71

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

四国がんセンター ニュース



2020
4
April

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(喜多郡内子町本川地区 撮影: 8俊野 健治)

新型コロナウイルスと医療安全 感染予防から思うこと

今話題になっている新型コロナウイルスは風邪などの原因となるウイルスの1種で、2002～3年に見られたSARS（重症呼吸不全症候群）、2012年のMERS（中東呼吸器症候群）を含め7種類が報告されています。新型とは言え全く未知のウイルスではなく、ウイルスの分類上RNA virus（有名なHIV virusもRNA virus）であることが判っており、治療効果が期待される薬の治療報告も少ないながら得られつつあります。

さて、SARSの発症が約20年前に大騒ぎとなったお隣の韓国では、この時の教訓から検疫対策や簡易診断方法の開発や診断体制整備を行い、今回の新型コロナウイルス感染の簡易検査が我が国より迅速に行われつつある感がありますが、その効果は今後の結果次第の要素があります。このような状況を医療安全と感染対策や危機管理に関して少しお話ししてみたいと思います。

まず感染予防では、ご存じのように1に手指消毒（手洗い）、2に人込みを避け、3に飛沫感染予防（マスク装着）ということになります。これらはインフルエンザなどの気道感染全般の予防策でもあります。院内でも2月から対策を強化し、現在は入院患者さんの原則面会禁止を実施しています。また、患者さんが発症した場合や職員が発症した場合を想定した対策もシミュレーションしています。その一つが、従来から行われている手洗い励行、一処置一手指消毒、マスク装着の徹底に加え、さらに今回は職員の皆さんの休憩場所での接触者の把握があります。新型コロナウイルス感染は潜伏期（無症状期間も含め）が14日といわれ、発症後に接触者を一定期間追跡調査する必要があるための対策です。食事や休憩時間には、（マスクを外し近くで）食事をしたり飲み物を飲んだりお喋りするでしょう。このことが感染予防の盲点とな

りかねません。このことは国内の発症者の多くが、感染者と濃厚に接触する機会があったことが判っているからです。このほか通勤や自宅でも類似の注意が必要となりますが、さまざまな社会的要因から、病院外では必ずしも徹底できるとは限りません。

しかしながら、こういった対策を行いながら院内の感染対策を確実にすることは、他の感染症予防に共通することでもあり、更にはより充実した医療安全につながると信じています。患者さんはもとより職員の方々にも多大なご面倒をおかけしますが、ご協力をお願いします。そして早くこの新型コロナウイルス問題が落ち着き、この対策過程から得られることを今後に生かし、より安全で過ごしやすい社会にしていきたいと思っています。

（副院長 山下 素弘）



がん治療

最前線

エキスパートパネル



脳神経学者の養老孟司先生が「バカの壁」という本を出版し、ベストセラーになりました。「バカの壁」とは、わからないことがあると、脳が勝手に情報を拒絶し、理解しなくなることを意味します。そうなることで損をすることが多いのですが、時には、その壁のおかげで自身を守ってくれることもあります。

さて我が国では、平成30年4月に、「がんゲノム医療」が開始されました。がんゲノム医療とは、皆さんのがん細胞における

遺伝子変化を調べ、その特徴ごとに方針を考える、がんの個別化医療のことを意味します。

そのがんゲノム医療は、令和2年1月現在、全国で、がんゲノム医療中核拠点病院（11病院）、がんゲノム医療拠点病院（34病院）、がんゲノム医療連携病院（161病院）で受けることができ、当院はがんゲノム医療拠点病院として活動しています。

さて、前置きが長くなりましたが、エキスパートパネルは、このがんゲノム医療に関係するものです。そして、エキスパートは、「専門家」という意味であり、パネルは、「板」を思い浮かべ、「専門家との間の壁」などをイメージされるかもしれませんが、パネルには討論者や審議者の集まりという意味もありますので、エキスパートパネルは、「専門家会議」と訳します。

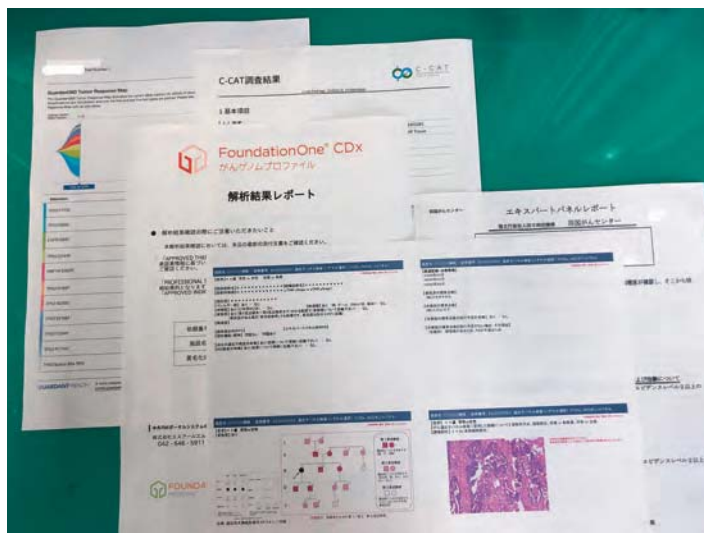
ご存じでない方も多いかと思いますが、普段、患者さんの治療方針を決める際には、担当の先生だけで決めるのではなく、関係する診療科で会議を開いて、その会議の中で方針を決めています。

がんゲノム医療においては、それぞれのがんの治療や特性だけではなく、検査の質、遺伝に関わることなどを最新の情報に基づいて多方面から結果を解釈する必要がありますので、これまで以上に多くの専門家が必要となります。そのため専門家も多岐にわたり、医師も診療科の垣根を越え、看護師、臨床検査技師、薬剤師、遺伝カウンセラー、公認心理師、治験コーディネーター、がんゲノム医療コーディネーターなどといった多職種が必要となります。これらスタッフが集まって方針を決める会議のことを、「エキスパートパネル」と呼びます。

このエキスパートパネルは、がんゲノム医療拠点病院で定期的に行われており、連携病院で遺伝子検査を受けられても拠点病院で開催されるエキスパートパネルにおいて検討されることになっております。

エキスパートパネルは皆様には非公開ですが、がんゲノム医療における「頭脳」であり、検査を受けられた患者さんをしっかり守るための「壁」なのです。

（臨床研究センター長 上月 稔幸）



全国的に麻酔科医不足やその偏在がニュースとなるなか、わが麻酔科は新任・復職によりこの春から6名体制となり、今回原稿を書く機会をいただきました。

他の診療科と比べると、麻酔科はみなさんにはなじみの少ない科ではないでしょうか。私たちは一日の大半を手術室での麻酔業務に費やしており、そこでは帽子とマスクでほぼ顔を覆っている（隠している？）ので、顔を覚えていただくこ



とも難しく、実際にお会いする回数も極端に少ないうえ、手術ののち患者さんが順調に回復しておられるならお付き合いもそこで終了となります。しかし麻酔科医にとって、手術を乗り越えていくみなさんを見送ることは、われわれの業務を無事に完遂できたことを感じられる、一番誇らしい瞬間でもあるのです。

そのほか、疼痛管理や救命救急分野、重症患者の全身管理などに代表される集中治療分野も得意とするところですが、いずれにしてもみなさんの目にはふれることのない、縁の下の力持ち的（地味な）業務です。これらは病気そのものを治す業務ではありませんが、われわれ麻酔科が増員しスタッフ層がより厚くなったことで、当院の医療体制がさらに深く充実してきたともいえるでしょう。

当科はこれからもみなさんのお気持ちに沿いつつ、安全かつ最適な医療を提供できるよう各医師が心をひきしめてつねに全力投球！手術室での中軸として日々臨んでまいります。

（麻酔科医師 武智 晶子）



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.47

衛生管理者・保健師

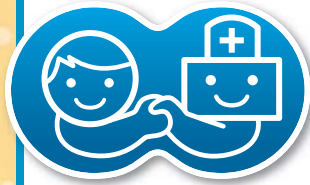
こんにちは、当院で衛生管理者・保健師として従事しています。保健師というと、自治体など皆さんの身近なところで疾病予防・健康増進活動または母子保健の場面でお会いされるイメージがあるかもしれません。また、人間ドック（健康診断）を受診される医療機関などで接することも多いかと思えます。職域（事業所）においても、労働安全衛生法という法律に基づいて、作業環境管理・作業管理・健康管理が行われています。当院でも多職種で連携し、当院で働く職員の労働衛生対策が行われており、保健師として職員の健康管理作業の補助を担当しています。主には年2回実施される職員健康診断や、感染症予防接種の事務的な補助を行います。そのほか、身体的な健康管理だけではなく、精神的な側面からの

健康管理も重要課題になってきており、平成26年に一部改正された労働安全衛生法によりストレスチェック制度も行われています。365日・24時間体制で稼働する四国がんセンターで働く職員の体とこころの健康が保たれることが、がんと闘い、共に生きる方を支えるためにも大切ではないかと思えます。

これからも皆様の協力を頂きながら、健康の見守りにお役に立てたらと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

（衛生管理者 狭川 浩実）





お世話になって医ます

興居島診療所

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、さまざまなご意見を紹介します。

興居島診療所



今回ご紹介する地域連携医療施設は、興居島診療所です。松山から一番近い島、興居島は高浜港からフェリーで約10分。診療所は由良港下船後徒歩1〜2分の位置にあり、アクセス良好です。1994年興居島唯一の医療機関として松山市によって開院され、当初から赴任されているのが、小糸光先生です。小糸先生は1983年愛媛大学医学部をご卒業、同大学放射線科に入局され、松山赤十字病院や当院放射線科等で勤務されました。1992年から2年間吉田病院で外科系も含めたプライマリーケアを習得されました。

診療所の特徴、普段の診療で心掛けていることは？

ホームページにも掲載していますが、大人から子供までプライマリーケア全般の医療を提供しています。興居島の人口減少と高齢化が進んでおり（当初約2,400人→現在約1,000人）、高齢化に伴う転倒事故、認知症が増加しています。事故、急病などの手に負えない症例では、救急艇（平成27年〜）に依頼し搬送しています。

ストレス解消法は？

トライアスロンとマラソンをしています。2015年ロードバイク練習中に自転車で崖から転落して多発骨折を受傷、7ヶ月入院したこともあり、患者さんの立場にたったことも

あります。その間の診療所の診察は周辺医療機関のサポートを受けて継続、辛い仕事にも運動にも無事復帰でき深く感謝しております。

四国がんセンターへの要望はありますか？

特別な要望はありません。がん末期の方の迅速な緩和ケアの対応など、いつもよくしていただいています。ただ、興居島からは松山中心部よりも西側遠方にあるので、患者さんが通院しづらいようです。



左 末久 弘 右 小糸 光 院長

美しい海水浴場もある興居島。今年の夏はプライベートでは是非訪れてみたいと思わずにはいられない島でした。島民の方々はもちろん、観光地として訪れて病気やケガに見舞われても、興居島診療所があるので安心です。

（呼吸器外科医長 末久 弘）

興居島診療所

■住 所：〒791-8092
愛媛県松山市由良町1165-2
■電 話：089-961-3001
■診療科目：内科
■休 診 日：日曜・祝祭日



	月	火	水	木	金	土
午前：8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後：14:00~17:30	○	○	休	○	○	休

☑ がんセンターだより

がん講演会を開催しました

2/2（日）ANAクラウンプラザホテル松山にて、四国がんセンター講演会「がんと共に生きる」with 愛 GIVER projectが開催されました。

愛 GIVER projectとは、生涯で二人に一人はかかるといわれる“がん”について、紙面やイベントで正しい知識を伝えること、及びがん患者の社会復帰を目指すための「両立支援」を啓発する目的で、愛媛新聞社と四国がんセンター、患者団体の協力で行っている企画のことです。

谷水院長の挨拶を皮切りに、仁科消化内科医長（仁科亜希子さんとは全くご縁はないそうです）の講演、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 松本陽子理事長による講演の後、メインイベントとして女優 仁科亜希子さんによる1時間わたる講演でした。



仁科医師

ここだけの話、谷水院長は仁科亜希子さんの大ファンで、最初の挨拶や仁科さんに花束を渡す時も、必死にそのことをPRされていました。

仁科さんからは、がんが見つかったから現在に至るまでの話のみならず、亡くなられたご主

人やお子さんの話も織り交ぜながらお話しされ、300名を超える来場者の方も、熱心に耳を傾けておられました。

今後も愛 GIVER projectの取り組みを行っている愛媛新聞社様と協力させていただき、講演会を開催していきたいと思います。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。
（経営企画室長 竹内 亘弘）



松本陽子さん



仁科亜希子さん



ホスピタルアート第2弾を実施しました！



2/22（土）、23（日）の2日間、病院正面玄関下の駐車場からエレベーターまでの通路において、壁面及び天井に絵の具によるアートが彩られました。

企画、作成のメインは、当院のホスピタルアート活動第1弾として、昨年5月に外来中庭のガラス面にアートを施していただきました、松山南高校砥部分校デザイン科の武田先生と3名の生徒さん（小山さん、兼下さん、竹内さん）です。当日は応援として、1年生、2年生の生徒さんも加えた計8名の生徒さんが参加されました。

寒いことだけが心配でしたが、両日とも暖かい気候に恵まれ、時折笑いに包まれながら、当院スタッフも楽しく実施出来ました。



患者さんや、なんと谷水院長も参加してくださいました！

完成後は、今までの暗かった通路が見違えるように明るくなり、病院へと誘う癒やしの空間となりました。

当院にお越しの際は、是非ご覧ください。

松山南高校砥部分校の武田先生、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

（経営企画室長 竹内 亘弘）



医者のつぶやき リレーエッセイ



●第十一回 クソおやじの遺伝子

『マイナポイント』をご存じだろうか？私は銀天街（松山のアーケード街）でポスターを見て知った。マイナンバーカードの交付率を上げるための施策の一つで、カードを使って申請するとキャッシュレス決済する毎にポイントが余計に付くようになるらしい。

が…「お役人は、何を考えて、制度の得点を訴えたいのにマイナスポイントっぽい名前をつけるんだ？おつむがクソでできているのか？」とつぶやいたら、隣を歩いている嫁さんに「なんでいちいちアラを探さなきゃいけないの？マイナでもマチルダでもいいじゃないの」と怒られた。銀天街の入り口の電飾の「I」がずっと切れていて『GNTENGAI』になっているのを見て、「愛なき街グンテンガイ」とつぶやくのもうざらしい。

子供が小さかった頃「みかん3個とリンゴ1個で何個でしょう？」という問題を、「答はみかん3個とリンゴ1個。一個中隊にみかん一人1個ずつ配っても、合わせて201個ではないのと一緒に」と教えたときも怒られた。（注：中隊は大抵兵隊200人）

そういうときには「これはクソおやじの遺伝子だから許してくれ」と言い訳をすることになっている。おやじの所為にすればとりあえず治まるが、許したわけではない。ただ、『クソおやじ』である点を認めただけだ。

3年前に死んだ父は、「中学校の模試で岡山県が一番だった」と言っていた。が、教育を否定する親のために15歳で修行に出されて襖屋になった。勉強してなる仕事につきた

かったらしい。うちの居間には商売に関係のない『日本文学全集』と『世界大百科全集』があって、それを端から端まで読んで、居間以外に隠していた『O嬢の物語』その他も読んで、親子はじいさんとおっさんになった。

父が生きていればマイナポイントには必ず突っ込んでいただろうし、もしかしたらみかん3個の件も小学1年生の私にそう教えたのが元かもしれない。世相から家族まで、嫌いなものは勿論好きなものにも、とりあえず問題点を見つけて、意図をひっくり返すようなことやちょっと違うことを言って喜んでいたり、その為には日々勉強や努力を怠らなかった。ものを斜めから見るために、日々本や新聞を読み、知識や視点を補充する。その形質は生物学的な遺伝子と非生物学的な遺伝の影響で子供に伝わってしまった。

以前の号にも書いたが、私の普段の仕事は病理医だ。患者さんから採取した病変を顕微鏡で直接見て行う病理診断は精度が高く重要だとされている。病理検査前の診断や他病院の病理診断と違う診断に至ったとき、その重要性が最も大きくなる。その時に良い病理診断ができると襖屋は継がなかったがオヤジと同じことをして喜んでいる。

（がん予防・疫学研究部長 寺本 典弘）



治験 CHIKEN CORNER コーナー

ち け ん

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。

（治験主任 峯本 譲）

●現在募集の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- | | | | | |
|--------------|--------------|----------------|----------------|---------------|
| ●肺がん……………16件 | ●胃がん……………7件 | ●前立腺がん……………5件 | ●卵巣がん……………3件 | ●子宮体がん……………1件 |
| ●悪性胸膜中皮腫…1件 | ●食道がん……………1件 | ●膀胱がん……………1件 | ●固形がん……………9件 | ●子宮頸がん……………2件 |
| ●胸腺がん……………1件 | ●大腸がん……………4件 | ●胆道がん……………3件 | ●悪性リンパ腫……………2件 | |
| ●乳がん……………14件 | ●膀胱がん……………1件 | ●尿路上皮がん……………3件 | ●子宮癌肉腫……………2件 | |

（令和2年3月13日現在）

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬あき(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



踊る輪に溶け込んでゆく車椅子

(豊淑さん 84歳・女性)

踊りと言えば盆踊りのことで秋の季語になります。盆踊りの輪に、ずっと入っていく車椅子の方。「溶け込んでゆく」という表現がいいですね。映像的にも心情的にも、この場所と人々の間でなんの垣根もないことが伝わります。



遠山の影を正せる小春かな

(K.Wさん 77歳・男性)

小春は、陰暦10月のこと。本格的な冬とはならず暖かい春のような日和の続くことから、小春といいます。ただし、そんなに穏やかな日は長くは続かないので、暖かさ、穏やかさだけでなくかなさも感じます。これから「遠山の影」は、どんどん暗く長くなってゆくのでしょうか。襟を正すようなフレーズがしみてきます。

入選 四つ切よ九十二才の雑煮餅

(I.Fさん 91歳・女性)

のどに詰まらないように、四つ切りにしてくれる配慮。四、九十二、と一句に二つも数詞が入っていて成立する面白さ。

入選 数え日やまだ定まらぬ退院日

(長尾邦博さん 70歳・男性)

年内があと何日と数えるほどになってきたので「数え日」といい冬の季語です。年末も押し迫ってきたのに定まらない退院日。新しい年も、そして退院日も、待ち遠しいですね。

入選 病床で初冬瓜を堪能す

(寿さん 51歳・女性)

冬瓜は初秋にとれる野菜。今年初めての冬瓜を、病院の食事でもいただいたんですね。堪能す、だから、美味しかったのでしょうか。つらいことの多い病床では、美味しい食事がとても大事ですね。

入選 記念日に吾子は入籍冬うらら

(Y.Bさん 50歳・女性)

子どもが入籍するという喜び。冬うららの季語が、しあわせ感を伝えてくれます。どんな、だれの記念日だったのでしょうかね。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

治療中の働き方に関する相談を実施しています!

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和2年2月



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい!”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 351人 就職延べ件数 81件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 61件

相談者の声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114



「オオムラサキ(ツツジ科)」(喜多郡内子町)
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

●新患受付時間 7:30~12:00
●診療時間 8:30~17:15
休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1100

<https://shikoku-cc.hosp.go.jp>

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

呼吸器内科	乳腺外科
呼吸器外科	婦人科
消化器内科	頭頸科・甲状腺腫瘍科
消化器外科	骨軟部腫瘍・整形外科
精神腫瘍科	形成・再建・皮膚腫瘍外科
緩和ケア内科	リハビリテーション科
ストーマ外来	リンパ浮腫
禁煙外来	放射線診断科
泌尿器科	放射線治療科
血液腫瘍内科	病理診断科
感染症・腫瘍内科	歯科
セカンドオピニオン	麻酔科・疼痛外来
遺伝性がん診療科	がんドック
がん看護外来	原発不明がん診療科

病床数

368床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科			月	火	水	木	金
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)/中舎(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	中舎(化)
		肝・胆・膵	西出(内)		堀(内)	日野(化)	長谷部(化)
	外科	食道・胃	灘野	浅木	寺尾		灘野
		大腸	小林	羽藤		野崎/香川	
		肝・胆・膵		大田		予小島	予★落合/☆小島
呼吸器	内科		○原田	○原田	○上月	佐伯	原田
	内科		○上月	○佐伯		上月	
	外科		山下(素)	上野	末久	山下(素)	重松
	禁煙外来					○末久	
緩和ケア・精神腫瘍科			三浦(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(精神)	
泌尿器科			橋根		橋根		松村
			富田		松村		富田
			新井		井内		井内
血液腫瘍内科				吉田		吉田	
感染症・腫瘍内科			○濱田			○濱田	
婦人科			○竹原/△藤本	予婦人科医師	竹原	予婦人科医師	○大亀/△藤本
			横山		大亀		横山
			高畑		藤本		高畑
			青儀	大住		青儀	大住
乳腺外科			高嶋	高橋	高橋	高嶋	三好
				○三好			
形成外科			○山下(昌)	○山下(昌)	○河村	○中山	
皮膚科			○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	○藤山
			門田	○担当医	門田	○担当医	秋定
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)			秋定	高橋			高橋
			林		林		門田/中村
			○杉原/△担当医		○杉原/△担当医	△杉原	○杉原/△担当医
放射線	診断科		菅原	桐山	清水	菅原	細川
	治療新患		濱本	神崎	長崎	神崎	濱本
	治療科		長崎	長崎	神崎	濱本	★神崎/★長崎
				濱本			☆神崎
予ストーマ外来				落合	○橋根	○小島	
予リンパ浮腫外来				○河村		○山下(昌)	○中山
リンパ浮腫ケア外来				リンパ浮腫ケア(自費)			リンパ浮腫ケア(自費)
予麻酔/疼痛外来			首藤(聡)	武智/原田(隔週)			首藤(誠)
原発不明がん診療科			担当医	△青儀	担当医	担当医	担当医
予セカンドオピニオン			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
予がんゲノム医療外来					△担当医		
予遺伝性がん診療科				○山本		○山本	
がん看護外来							
がんドック			酒井	徳永	酒井	徳永	酒井
			日野	治療内視鏡	○白石/△日野	坂口	堀
			堀	治療内視鏡	西出	西出	○日野
内視鏡生理検査			長谷部	治療内視鏡	長谷部	長谷部	寺尾

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFFIC ACCESS 交通のご案内



車でのお越しの場合

車
■松山空港から車で 約45分
■JR松山駅から車で 約30分
■松山市駅から車で 約25分
松山自動車道
■松山インターから車で 約20分
■川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

